普通充電設備が6基108万円にとどまっており、補助制度の周知不足だ。有効なPRの手法や事業の拡大について環境文化部長に伺いたい。

環境文化部長答弁

補助制度については、県ホームページや業界団体の広報誌への掲載などにより周知しているところでありますが、今後、SNSの活用や産業界向けの広報活動の強化など、発信方法や内容をより一層工夫し、十分に活用されるよう努めてまいります。

また、今後の事業の拡大については、民間部門での整備状況や国の支援制度の動向等も注視しながら、県内の充電環境の効果的な整備に向け、具体的な検討を進めてまいりたいと存じます。

令和4年2月定例会 一般質問

●そのほか、**衆議院小選挙区の区割り改定について・農林水産物直売所の整備について・森林環境譲与税について**（県の活用状況・市町村の活用状況等・有効な施策への活用等）・**医療的ケア児について**質問しました。

●建設業への支援について

(1)資材価格の推移等

民間の調査では令和3年に倒産した建設業者は建設資材高騰による収益悪化が背景にあり、県内業者の実態が心配だ。資材単価の上昇を販売価格に反映できないとも聞く。鉄骨、木材、生コンクリートなど代表的資材の市場価格の推移の実態はどうか。また、資材価格高騰に対応した発注価格の見直しは適切か、併せて土木部長に伺いたい。

土木部長答弁

資材価格の推移等についてでありますが、令和4年2月と2年前の令和2年3月を比較すると、鉄骨の主要資材のH形鋼は約38％、木材の主要資材の杉の柱材は約92％上昇しております。生コンクリートは地区により違いがあるものの、上昇幅は0から約14％となっております。

県では、定期的に実勢価格を調査し、資材単価の改定を行い、県発注工事の予定価格に速やかに反映させております。引き続き、資材価格の動向を注視し、適正な予定価格の設定に努めてまいります。

(2)価格変動への対応

予算が大きな事業では契約から工事完成までが長期間となる。その間の資材価格の変動に対してどう対応しているのか。また、それは建設業者が適正な利益を確保できるための有効策として機能しているのか、併せて土木部長に伺いたい。

土木部長答弁

契約締結後に資材価格の高騰が工事の請負代金額に大きな影響を及ぼす場合や、国からの要請により労務や資材の単価を変更できる、いわゆる特例措置等を講じる場合には、受注者からの申し出に基づいた協議を行った上で、請負代金額を変更することとしております。

これらは、適正な価格での契約とその履行を確保するための取組であると認識しており、引き続き、資材価格等の変動に適切に対応してまいります。

(3)発注遅延

民間の調査によると、倒産した建設業者は建築工事関係の業種だけでなく土木工事業も上位となっている。コロナ禍に伴い地方自治体の発注手続が遅れたことが背景にあるようだ。本県でコロナによる発注の遅延は起きているのか、土木部長に伺いたい。

土木部長答弁

最後に、発注遅延についてでありますが、現在までに、県発注工事における新型コロナウイルス感染症の影響による発注の遅延は発生しておりません。引き続き、職員の感染防止対策に努めるとともに、計画的な発注を行ってまいりたいと存じます。

(4)建設技術の維持・継承等

建設業界では、就業者の高齢化が進み、若者が足を踏み入れず、慢性的な人手不足が大きな課題だ。建設業は特殊技術が必要な職人の活躍の場であり、大工など匠の技術継承にも努めるべきだ。匠の技術を含め建設技術の維持・継承は、県土発展や防災力強化の銀点からも意義があるが、いかがか。また、担い手不足に対する今後の取組と併せて所見を伺いたい。

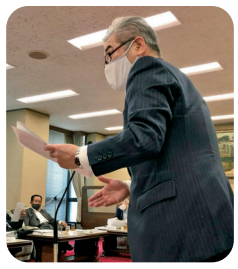
知事答弁

地域を支える社会インフラの整備や、災害時の応急対応、復旧・復興を担う建設業において、技術の維持・継承は重要と考えております。

また、担い手不足に対しては、関係団体等と連携し、建設業の魅力発信に努めるとともに、ICTの活用や週休2日工事の促進など、安全で働きやすい環境づくりを進め、若者をはじめとする人材の確保と定着に取り組んでまいりたいと存じます。

(5)キャリア教育

建設業に関わる人材増には、キャリア教育が大きく影響する。小中高の教育を通し、やりがいや社会的有益性、生涯生きていける技術の習得と修練は価値あるものだと理解してもらうことは重要だ。本県の学校現場では、建設技術習得者へとつながるキャリア教育はどう行われているか、教育長に伺いたい。



教育長答弁

キャリア教育についてでありますが、義務教育段階では、総合的な学習の時間等を活用して、様々な仕事についての調べ学習を行ったり、地元の建設業等の企業に協力いただき、職場見学や職場体験を実施することにより、自分の将来を思い描くことができるよう、キャリア教育の充実に努めているところであります。

さらに、県立高校の土木系学科や建築系学科においては、建設業界と連携して、建設業に関するイベントへの生徒の参加を促すとともに、現場の魅力を肌で感じることのできる工事現場見学会等の実施や、建設業の魅力を伝えるハンドブックの活用などにより、技術の習得のみならず、建設業で働くことのやりがいや社会基盤形成に果たす重要な役割などを生徒に伝えるよう、取り組んでいるところであります。

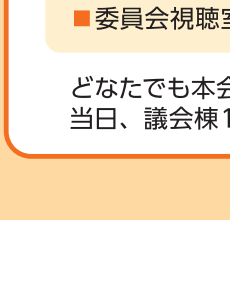
今後一層こうした取組の充実を図ることで、生徒が自ら学んだことを将来に生かせる進路選択ができるよう、学校を指導してまいります。

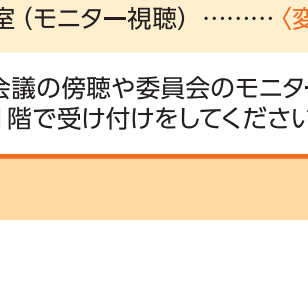
●そのほか、**コロナ禍における選挙について**（ミスの件数等・人材育成・選挙啓発・マニュアルの整備等・インターネット投票）・**移住・定住について**（ランキングの受止め・つながりの活用・取組強化）について質問しました。

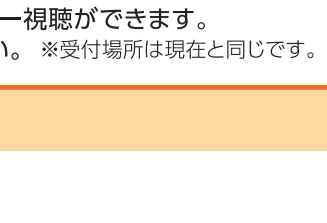
※詳細は岡山県議会ホームページをご覧ください。

OTEXおかやまテクノロジー展

岡山県は、優れた技術や製品を持つ企業が多くあり、県内総生産のうち製造業の占める割合が全国平均を大きく上回る「ものづくり県」です。
「おかやまテクノロジー展（OTEX）」は、機械系ものづくり企業の展示商談会としては中四国最大級で、「ものづくり県おかやま」を広くアピールするため、2016年から開催しています。







～産業労働警察委員会活動～

R3.11.25 岡山県警察機動隊

R3.11.2 オーエヌ工業(株)

R3.11.1 (株)英田エンジニアリング

R3.7.19 矢掛宿

R3.11.25 (株)フジワラテクノアート

[あなたも県政に参加しませんか?]

県の予算や条例がどのように決められているか、本会議・委員会を傍聴・視聴できます。また、インターネットでも議会中継を見ることができます。

お知らせ

議会棟の耐震化整備に伴い、令和4年4月から11月（予定）まで議場と委員会視聴室の場所を変更します。

■議場（本会議傍聴）……〈変更後〉➡議会棟3階 仮議場
■委員会視聴室（モニター視聴）……〈変更後〉➡西庁舎2階

どなたでも本会議の傍聴や委員会のモニター視聴ができます。
当日、議会棟1階で受け付けをしてください。 ※受付場所は現在と同じです。

インターネットで議会中継を見よう!

本会議の様子は、インターネットでライブ中継と録画映像の配信を行なっています。パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末でも見ることができます。録画映像は、原則として、ライブ中継終了後3日程度（土・日、祝日を除く）でご覧になれます。

岡山県議会　インターネット中継　検索

※通信事業者のパケット通信料がかかる場合もありますので、通信事業者のパケット定額制サービスなどへ加入後のご利用を推奨します。